

## 診療上の情報公開文書

実施内容	全身麻酔を受ける患者さんへのデキサメタゾン注射薬の使用について
対象患者	術後に吐き気や嘔吐を起こす可能性が高い患者
診療科	全診療科
対象期間	承認後からマニュアル内容の見直しの必要性が生じるまで
目的・概要	<p>全身麻酔を受ける患者さんのうち、術後に吐き気や嘔吐をおこす可能性が高いと考えられる方に、デキサメタゾンという注射薬を用いて、その予防を行うことがあります。</p> <p>特に①女性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>②タバコを吸わない方</li><li>③乗り物酔いしやすい方</li><li>④過去の麻酔で気持ちが悪くなった経験のある方</li></ul> <p>では頻繁にみられます。</p> <p>デキサメタゾン注射薬は、添付文書上、術後の吐き気や嘔吐の予防には効能・効果が認められておりません。しかし、安全性と予防効果が高ことから、術後の吐き気と嘔吐の予防と治療に関する国際的なガイドラインでは、上記のような、術後に吐き気をおこす可能性の高い患者さんには予防的に使用することを推奨しており、日本麻酔科学会もこのガイドラインを承認しています。</p>
危険性と使用方法について	デキサメタゾン注射薬は一時的に血糖値を上げることがありますが、最近の研究で術後の感染リスクを上げないことが証明されています。麻酔中に1回使用する限りにおいて、危険性はないと考えられます。
問い合わせ先	社会福祉法人康和会 久我山病院 診療科担当医師 電話：03-3309-1111（代表）

作成日 2025年1月31日